

蔵王ロープウェイ 県内初認定

山形市の蔵王温泉スキー場でロープウェイを運行している蔵王ロープウェイ（同市、大塚博哉社長が、NPO法人・地域活性化支援センター（静岡市）による「恋人の聖地サテライト」に認定された。これまで国内外で77カ所が選ばれているが、県内では初めて。同社は「四季折々の自然の中でカップルの絆をより強めてほしい」としている。

恋人の聖地サテライト



世界的に有名な蔵王の樹氷。山頂線沿いには魅力的な自然が広がっている
＝山形市蔵王温泉（蔵王ロープウェイ提供）

自治体などの公的団体が対象となる「恋人の聖地」は、地域活性化・少子化対策を目的に2006年から選定が始まり、現在認定されているのは132カ所。県内では、上山市葉山の「花咲山展望台」、村山市の東沢バラ公園が「恋人の聖地」に選ばれている。「恋人の聖地サテライト」は民間企業・団体が運営する施設などが対象となる。

蔵王ロープウェイは、蔵王温泉スキー場で山麓線（蔵王山麓駅―樹氷高原駅間1734㍎）と山頂線（樹氷高原駅―地蔵山頂駅間1872㍎）のロープウェイ2路線とリフト、ホテル、レストランなどを経営。山頂線では世界的に有名な樹氷を觀賞できるほか、市街地の夜景や星空を楽しむサマーナイトクルージング、高山植物をめぐるトレッキング、紅葉狩りなど、四季折々の自然を満喫できる環境を整えている。同社は先月12日に登録を申請し、同25日の審査会を経て認定を受けた。

同社営業企画推進室の鈴木修三郎部長は、自然の魅力と充実した施設面を魅力に挙げ、「今後はより商品化していきたい」と話す。県内に2カ所ある「恋人の聖地」との連携も強化していきたいとしている。

大自然も「愛の舞台」

二人の仲育んで

人生の記念日をより良
い思い出にしてみらおう
と、天童市はサクラン
ボなどのデザインをあし
らい、メッセージを書
いたり、写真を貼った
りできる婚姻届を作成
し、4月1日から配布
を始めた。自治体オリ
ジナルの婚姻届は「当
地婚姻届」として全国的
に広まりつつあり、市は
「結婚に明るいイメージ
を持つてもらいたい」と
話す。

「当地婚姻届は、結婚
情報誌が自治体と共同で
企画し、天童市役所にも
他自治体で入手したオリ
ジナル版が届くようにな

記念日 より楽しく

ったことが発行のきつ
け。作成したのは、市役
所に提出する届け書と、
記念として保存できる書
類の2種類。従来の届け
書は茶色で印字されてい
たが、これを親しみやす
いピンクに変え、将棋駒
をモチーフにした市のロ
ゴマークを入れた。記念
用はピンクの紙を使い、
左半分は「夫になる人」
「妻になる人」などを記
入する婚姻届と同じ項目
を設け、右半分には記念
写真を貼るスペースと、
相手への思いを書き込め
るイラストを配置。市長
の祝いのメッセージも添
えられている。

市は「未婚化、晩婚化
が進む中、結婚に対して
明るく楽しいイメージを
抱いてもらいたい」と、
婚姻者の増加に期待を寄
せている。配布は市役所

ピンクを基調にサク
ランボのイラストなど
をあしらった天童市の婚姻届

天童「当地婚姻届」を発行

